

皆さん、こんにちは。ジリアンです。とても悲しいことですが、今回が私の最後のALTコラムとなります。与謝野町に来て充実した日々を過ごしていた私ですが、やはり故郷であるイギリスのことを恋しく思うことも多々あり、今秋をもって帰国することになりました。

日本に来てから私は、本当に多くの素晴らしいできごとを体験することができました。大江山では鬼と戦い、京丹後では危険なクラゲがたくさんいる海を泳ぎ、丹後地域の素晴らしい山々を登り、美しい景色を楽しみました。それ以外にも、動物好きの私にとって、日本の愛くるしい動物たちと触れ合うことができる時間はとても素晴らしいものでした。

私は与謝野町での生活と仕事をとて、も気に入っています。また、与謝野町の素晴らしい人々に会うことができ幸せに思っています。また、与謝野町を含め丹後地域には興味深い歴史が数多く残っており、これらの歴史を学ぶことも歴史好きの私にとって大変素晴らしい時間でした。

言葉の面においても、標準語とも関西弁とも異なる「加悦谷弁」を学ぶことは大変な反面、楽しくも



着物文化はとても素晴らしい日本の誇るべきものですね！

ありました。「加悦谷弁」には標準語ではないような細かな状況を伝える言葉が多く、その言葉の多さに驚かされました。いくつかの日本語は、私の生活の一部となりつつあります。

与謝野町を去ることはとても悲しいことです。その悲しさの反面には故郷に帰れるという喜びもあります。会いたいときにはすぐに家族に会える、誕生日やお祭りを一緒にお祝いできるということは、日本に来てからの3年間ではできなかったことです。また、故郷の食事も恋しく感じています。しかし、故郷では日本で食べたような美味しい日本食を食べることができないので、帰国したら今度は日本食が恋しくなることでしょう。

帰国を決めた私ですが、教え子たちと離れることを考えるととても辛く感じます。私の教え子たちは英語を一生懸命学んでいました。その一生懸命学んだ英語を楽しく今後の人生に活かせてもらえたなら幸いです。教え子たちには大いなる可能性があり、これから素晴らしい人生が待っています。

与謝野町の皆さんのが幸せでありますように、地球の反対側からいつも願っています。

## 時の贈り物 [第116回 ノー電気生活～熱帯夜を乗り切る工夫～]

俳句で夏の季語にもなつて  
います。  
が転げ落ちないようになつて  
いるので、意外に思われるで  
しょうが多少の寝返りでは頭  
が弓なりになつていて横に揺  
あります。

固い陶器の枕に慣れるのは  
大変ですが、当てみると実  
に涼しいものです。また底部  
が転げ落ちないようになつて  
いるので、意外に思われるで  
しょうが多少の寝返りでは頭  
が弓なりになつていて横に揺  
あります。

皆さんは就寝の際にどのよ  
うな枕をお使いでしょうか。  
そばがら枕や低反発素材な  
ど、頭に優しいさまざまな素  
材の枕がありますが、エアコ  
ンも扇風機もなかつた昔の熱  
帯夜には、枕でも涼を取ること  
が求められました。

写真は陶器の枕で、「陶枕  
(とうちん)」と呼ばれ、頭で  
なく首の後ろに当てて使いま  
す。中は中空で首を乗せる部  
分には穴がいくつも開いてお  
り、中にお香を入れたりもで  
きます。頭が浮くので汗ばむ  
顔や髪に張り付かないだけで  
なく、陶器のひんやりした感  
触で首の動脈を冷やす効果も  
あります。

三河内郷土資料室に収蔵し  
ている昔の生活道具を紹介し  
ます。

皆さんは就寝の際にどのよ  
うな枕をお使いでしょうか。  
そばがら枕や低反発素材な  
ど、頭に優しいさまざまな素  
材の枕がありますが、エアコ  
ンも扇風機もなかつた昔の熱  
帯夜には、枕でも涼を取ること  
が求められました。

写真は陶器の枕で、「陶枕  
(とうちん)」と呼ばれ、頭で  
なく首の後ろに当てて使いま  
す。中は中空で首を乗せる部  
分には穴がいくつも開いてお  
り、中にお香を入れたりもで  
きます。頭が浮くので汗ばむ  
顔や髪に張り付かないだけで  
なく、陶器のひんやりした感  
触で首の動脈を冷やす効果も  
あります。

三河内郷土資料室では、さ  
まざまな昔の道具に直接触  
れて楽しむことができます。ぜ  
ひお越しください。

三河内郷土資料室では、さ  
まざまな昔の道具に直接触  
れて楽しむことができます。ぜ  
ひお越しください。

開館日	入室料
（与謝野町教育委員会）	一般150円 (中学生以下無料)
（年末年始を除く）	



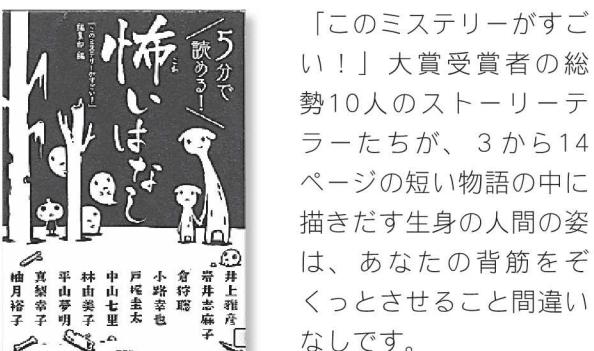
## 図書館へ行こう！

### 怖いはなし

夏の定番といえば怖いはなし。怖さにも種類がありますが、図書館にはさまざまな怖い本がありますので暑さに負けないように試してみませんか？

#### 『5分で読める！怖いはなし』

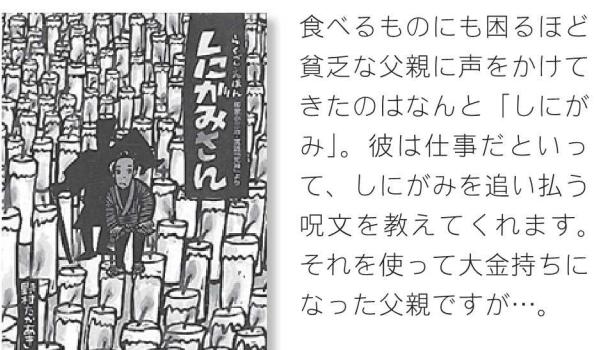
『このミステリーがすごい！』編集部／宝島社



「このミステリーがすごい！」大賞受賞者の総勢10人のストーリーテラーたちが、3から14ページの短い物語の中に描きだす生身の人間の姿は、あなたの背筋をぞくっとさせること間違いなしです。

#### 『しにがみさん (柳家小三治・落語「死神」より)』

野村たかあき／教育画劇



食べるものにも困るほど貧乏な父親に声をかけてきたのはなんと「しにがみ」。彼は仕事だといって、しにがみを追い払う呪文を教えてくれます。それを使って大金持ちになった父親ですが…。

#### 『47都道府県あなたの県の恐い話 全2巻』

並木伸一郎 洋介犬／理論社



全国津々浦々にある都市伝説から、実際にあった不思議なできごと、伝説やUFOといった読んでドキドキするはなしを都道府県別に紹介。私たちが住む京都府にまつわるはなしも下巻に掲載されています。

#### 『怪談四代記 八雲のいたずら』

小林凡／KADOKAWA



「雪女」「耳なし芳一」などの怪談の著者として知られるラフカディオ・ハーン（小泉八雲）。その4代目にあたる著者が家族だからこそ知り得た、ハーンや妻の日常の姿、世代をまたぐ交流をつづった1冊。

### 図書館からのお知らせ

#### 8月中の課題図書

#### 図書の取り寄せ

貸出期間 1週間

返却日にご注意ください！  
※他の本は4週間です

京都府内の図書館等から  
の取り寄せもできます。

手元に届くまでに時間が  
かかる場合がありますの  
で、お早めにお問い合わせ  
ください。

一般書 ●『病院というヘンテコな場所が教えてくれたコト。』仲本りさ／いろは出版 ●『ザ・野菜ライス』堤人美／グラフィック社 ●『宗棍』今野敏／集英社 ●『医学のひよこ』海棠尊／KADOKAWA ●『3・4・5歳のこどもの「なんで？」早引き事典 Li g h t』主婦の友社 ●『自由への手紙オードリー・タン』オードリー・タン／講談社

児童書 ●『ポリポリ村のみんしゅしゅぎ』蒔田純／かもがわ出版 ●『ジャックのどきどきモンスター』サムズパルディ／光村教育図書 ●『かぶとむしのぶんぶんちゃんうまれたよ！』ねもとまゆみ／童心社 ●『「はやぶさ2」リュウグウからの玉手箱』山下美樹／文溪堂 ●『おやくそくえほん』高濱正伸／日本図書センター ●『そらまめくんのまいにちはたからもの』なかやみわ／小学館



江山文庫読書会 与謝野晶子の童話を読む  
「女の大将」

■日時

8月27日(金)※毎月第4金曜日  
午後1時30分～3時

■問い合わせ先

江山文庫 ☎ 43-2180